

平成 27 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 横田 浩

最終学歴	1987年3月大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程単位取得満期退学	
取得学位	大阪市立大学理学博士	
所属学会	日本物理学会、アメリカ物理学会	
専門分野	素粒子理論	
研究課題	熱場の量子論の相構造・相転移構造の研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・表現技法 I (前期) ・情報基礎・倫理 (前期・後期) ・コンピュータ概論 (前期・後期) ・パソコン操作 I (前期) ・パソコン操作 II (前期) ・情報ネットワーク論 I (後期) ・情報ネットワーク論 II (後期) ・データ処理論 (後期)
	大学院修士課程 担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	大学院博士後期課程 担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・データ処理論 (スクーリング) ・環境論 I (テキスト)
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】	情報処理センター主催の学生向けeメール、ワープロ講習会の講師を担当	
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報処理センター所員、教養部主題科目主任、教養部人事委員長 ・ネットワーク委員、人事委員、情報処理センター運営委員、ホームページ委員、情報教育検討委員、図書館委員、シラバス検討委員、教養部学生支援委員、教養部自己点検・自己評価委員 ・グランドスキーチーム顧問 	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
(学術論文)				
① Solution of Dyson-Schwinger Equation Consistent with Gauge Invariance Condition	共著	2016年3月	奈良大学紀要 第44号	有限温度QCDにおいて非局所ゲージを利用してWard-Takahashi恒等式を満たすようにDyson-Schwinger方程式の解を求めた。さらに、カイラル相転移について局所ゲージの場合と比較した。
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①				
②				
③				
④				
⑤				